

- BankART AIR 2016がスタートします!
- バンカースクール2016年4-6月期受講生募集!
- 邱 昭財「浄・境」一点の枯山水 開催
- Cafe&Pub 新メニューを始めました!
- BankART Shopへ行こう
- オリバー・ウォーカー from Berlin
ラホ・アードラー from Tallinn

BankART NEWS Vol. 6

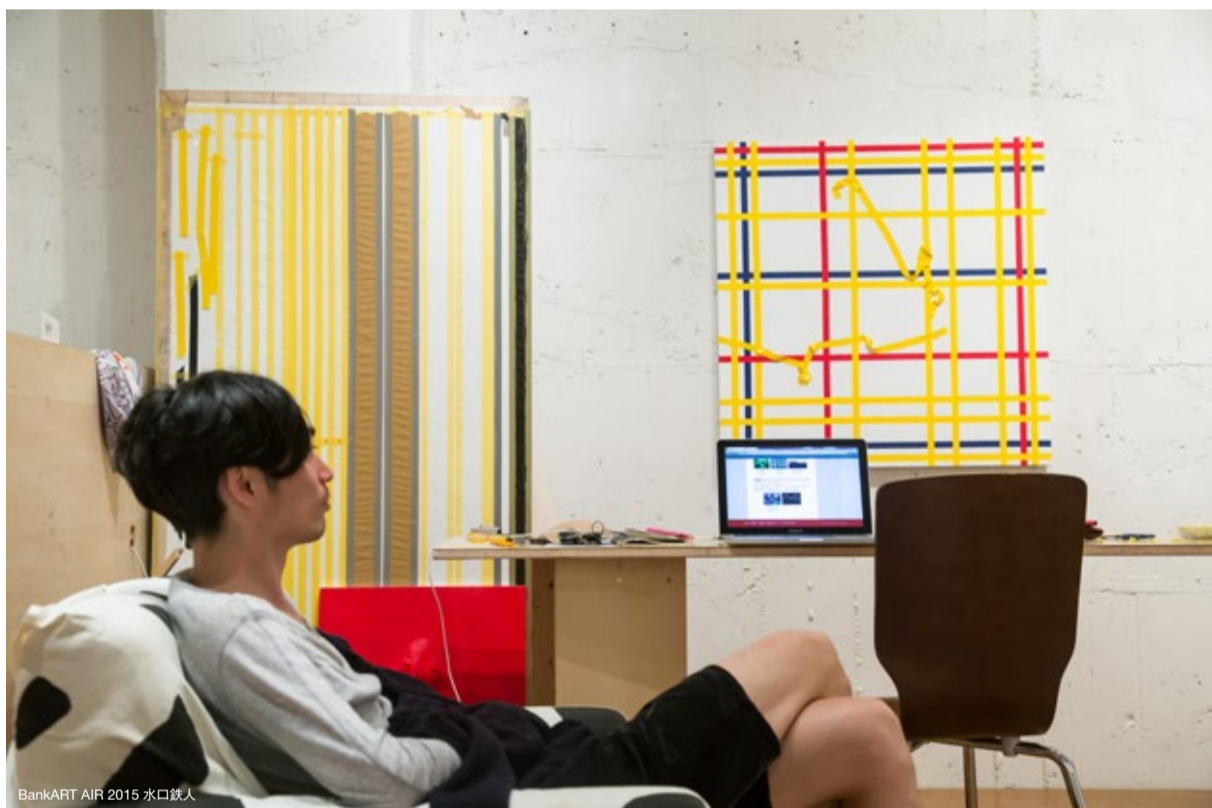
発行: BankART1929
2016年4月1日発行



恒例のシェアスタジオプログラム 「BankART AIR 2016」がスタートします。

2016年4月4日～6月7日、BankART Studio NYKに約50組のアーティストが2ヶ月間入居。通常は展覧会・イベント会場のBankART Studio NYKがクリエイターの制作スタジオとして変身します。全国から集まったアーティストの生きいきとした制作現場を是非お訪ねください。皆様のご来場をお待ちしております。

- 【オープンスタジオ】** 5月27日[金]～6月5日[日] 11:00-19:00 入場無料
オープニングパーティ: 5月27日 19:00- 一般参加費500円
- 【ウェルカムパーティ】** 4月8日[金] 19:00- 一般参加費500円
- 【アーティストトーク@pub】** 4月15日[金]から毎週金曜 19:00-20:30 ドリンクオーダーをお願いします



BankART AIR 2015 水口鉄人



BankART AIR 2015 榎本多賢

【BankART AIR 2016 参加予定アーティスト】

松田直樹、今 裕子、關口佳明、liquidbiupil、似て非 works、河村るみ、橋本美和子、柳 幸典、川瀬浩介、開発好明、桑波田 謙、近藤美子、伊藤由貴×野本直輝×宝塚大学田島悠史研究室、安部治子+関 直子、SayakaMotani Collective、岩永かおる、秋山直子、木の片下桐、窪田久美子、苦野美亜、関本幸治、近藤南、石花会、相模智之、高野萌美、森 貴之、遠藤幹大+三上 亮、KAIE、石倉 潤、福島徹也、リン・チャール、石川理咲子、安田拓郎、鈴木貴美子、井上幸子、ヤナギハルヤス、片岡純也+岩竹理恵、石原 海、鳥亭、水谷厚太、西井保奈美、奥野美和、JITTER、廖 震平、岸 柚伽、成清北斗、アートファミリー、PHスタジオ、アートの綴り方 vol.8 - HAMArt! 編集会議 (順不同)

バンカースクール 2016年4-6月期受講生募集!

BankART school 2016年4月～6月の講座の募集がはじまりました。是非みなさんご参加ください。



BankART schoolの概要

時間 = 19:30～21:30
会場 = BankART Studio NYKにて
料金 = 1 講座 15,000円
入学金 3,000円 (初めての方のみ)

お申し込み方法

①受講したい講座名 ②お名前 ③ご住所 ④電話番号
⑤メールアドレスを、メール・FAX・電話のいずれかにてお知らせください。

お申し込み・お問い合わせ

BankART スクール事務局
school@bankart1929.com
TEL 045-663-2812 FAX 045-663-2813

4-6月 詳細は別刷りチラシ・HPにて

- 月 | BankART 義塾Part2** 参加費無料
①5/2 ②5/9 ③5/16 ④5/23 ⑤5/30 ⑥6/6 ⑦6/13 ⑧6/20
- 火 | 「作品で読み解く現代美術」村田 真**
①5/10 ②5/17 ③5/31 ④6/7 ⑤6/14 ⑥6/21 ⑦7/5 ⑧7/12
- 水 | 「7つの大材-美術の様々な カテゴリーを实践してみる」開発好明**
①4/20 ②4/27 ③5/11 ④5/18 ⑤5/25 ⑥6/1 ⑦6/8 ⑧6/15
- 木 | 「広く・深く・面白く コンテンポラリー・ダンス徹底ガイド -こんなものまでダンスなの」乗越たかお**
①5/12 ②5/19 ③5/26 ④6/2 ⑤6/9 ⑥6/16 ⑦6/23 ⑧6/30
- 金 | BankART AIR Artist Talk (オープンスクール) 19:00～20:30**
参加費無料/要1ドリンクオーダー
①4/15 ②4/22 ③4/29 ④5/6 ⑤5/13 ⑥5/20 ⑦6/3
- 土 | 「サウンド・オブジェを創る」松本秋則 15:00～17:00**
①4/23 ②5/7 ③5/14 ④5/21 ⑤5/28 ⑥6/4 ⑦6/11 ⑧6/18

台北・横浜アーティスト交流事業2015

邱 昭財「浄・境」一点の枯山水

2016年4月8日[金]～4月17日[日] 11:00-19:00

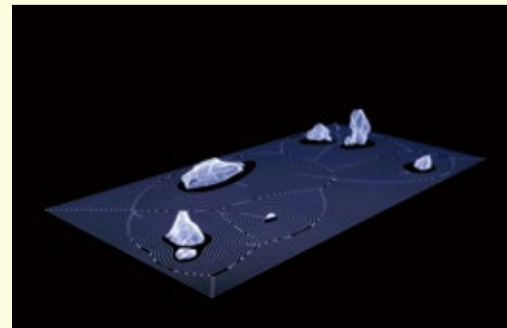
BankART Studio NYK 2F / Studio201 入場無料

オープニングパーティ 4月8日[金] 18:30～

2016年1月24日から4月23日まで滞在し、今回の展示で成果発表を行います。

[以下 邱 昭財氏のテキスト]

LEDの点光源を、前後、左右、上下に可動するオリジナルな装置に取り付け、撮影します。PCでプログラムされ正確に可動制御された光の軌跡は、線、面、立体へと展開され、ひとつの形が空間に描かれていきます。しかし「光」そのものは、なんら物理的な痕跡を残す訳ではありません。私は、この跡形もなく消えてしまう徒勞とさえ思える仕事を続けるうちに「見る」と「知る」との間にある関係を考えていたと思ひ始めました。暗室で光の点が動く様子を「見」続けるとき、私たちはそこに描かれようとしている形を「知る」ことを始めます。しかし、規則正しい光の飛翔を追従することはまるで儀式のように、私を哲学的な冥想状態に導いていきます。動と静、主と従、具体と抽象、実存と虚無、外在する動きと内面の心象…。光が描く形を認識することは、本当に「知る」ことを実現する究極の目的なのでしょうか? 私にとって、光を見つめ、意識を集中し思考する状態は、心の平静を得る最も充足したひと時です。そしてこの境地こそが、私が「見る」と「知る」との狭間に求めていたことであるように思われるのです。



BankART Cafe&Pub 新メニューを始めました！

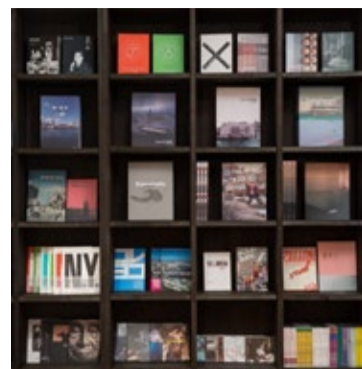
年中無休、夜11時まで開いているBankART Café & Pub。2004年から今まで、大きなメニュー変更を行わずに運営してきましたが、今回、フードとドリンク、それぞれ5種類を新しく追加。手ごろな値段で楽しめるパスタが2種類(ポロネーゼ・バジル / 500円)と、温かいスープ&パンのセットが2種類(ミネストローネ・クラムチャウダー / 350円)。あと瀬戸内のフェスティバルつながりで小豆島からおでん(450円)。お飲物は冬の季節に合わせて焼酎のお湯わり(梅干し付き / 350円)とホットワイン(350円)を増やし、ワインも新規入荷しました。スペイン産のエヴォディア(赤 / 500円)とダイヤモンド・ブランコ(白 / 500円)です。

風に吹かれながら、河岸とアートを楽しんでください。



BankART Shopへ行こう！

アート、写真、建築、パフォーマンス、音楽、映画、地域とアートやアートマネジメントの本などで構成されたBankART Shop。通販の台頭で店売りは苦戦していますが、この3月に500種類程の関連図書を入荷しました。ネットでももちろん本の内容を知ることはできますが、セレクトした本は、スクールの先生の濃厚な本やスタッフの思い入れの強い本が並んでいます。是非手にとって自分の感覚を信じてえらんでみてください。

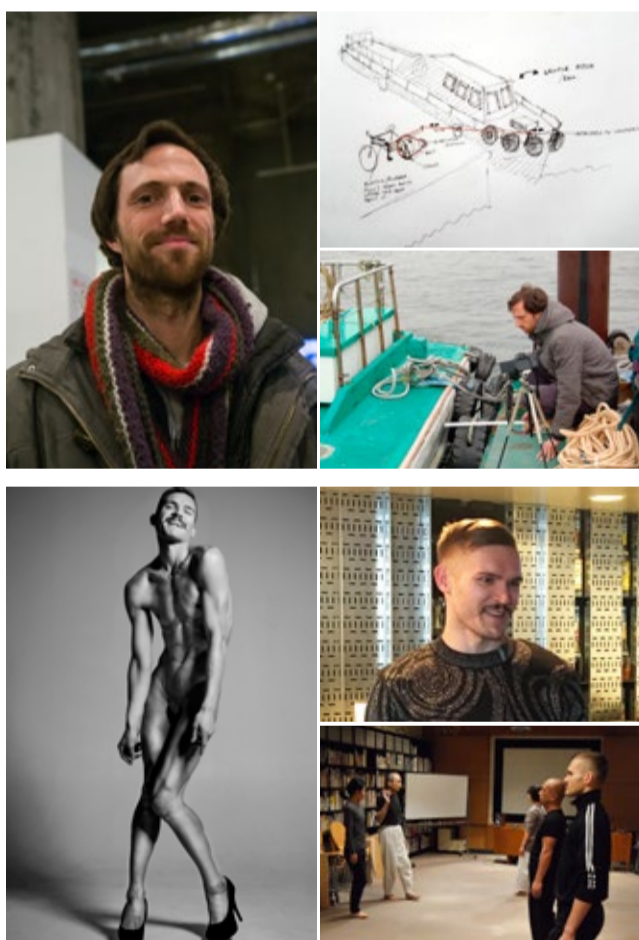


オリバー・ウォーカー from Berlin ラホ・アードラー from Tallinn

文化庁の文化芸術の海外発信拠点形成事業にて、リバプール生まれ、ベルリン在住のアーティスト、オリバー・ウォーカーさんと、エストニアの首都タリンから、舞踊家のラホ・アードラーさんが、BankART Studio NYKに滞在制作し3.26と27でプレゼンテーションを行いました。

オリバーさんは、横浜の海で試した、波力発電のリサーチとテストの様相を紹介。海辺を歩きながら受けたインスピレーションや、2015年パリで開催されたCOP21（気候変動枠組条約会議）に参加した経験を生かして、波エネルギーを利用した発電装置を考案しました。リサイクル品を調達し、DIYで組み立て、また、船を使つての波のエネルギー変換実験などを行うなど、様々な方に協力を得ながら作業を進ませました。

ラホさんは、舞踊学校で教えながら、自身の作品創作をしているパフォーマンス。初めての日本滞在では、BankARTschoolの蟬丸さんのワークショップに参加したり、近隣で行われている公演を見に行ったりと、様々な刺激を受けたようです。スタジオでは、ソロパフォーマンスの作品の基礎作りのため、言語の壁や文化の違い、また個人の差異を越えて伝えられる人間の身体の質について考える作業を継続的に行っていました。滞在最後の週末には、公演「ジェンダーレス 或る男の虚構の肖像」を発表。今回上演された小作品は、思考よりも、エモーショナルな身体を顕在化することが試みられました。



BankART Berlin

BankART ベルリンに現在滞在しているのは、韓国釜山のアーティスト、Kim Dae Hong(キム・デホン)氏。彼は数年前から、続・朝鮮通信使の活動に参加し、BankARTにも1ヶ月間滞在中があるメディア系の作家だ。だから、彼のことを知っている横浜のアーティストも多い。彼は昨年10ヶ月間、ドイツのレジデンス施設ベタニアンで滞在制作をおこなっており、その後引き続き、BankART ベルリンに滞在し、幾つかのアートイベントに招待作家として参加した。ベタニアン入居にあたっては、横浜での活動がその契機となったようだ。



編集後記

□今年度も終わりに近づき、なんだかそわそわする日々が続きます。このニュースが皆様の手元に届く頃は、新入生や新社会人が街に目立つ季節になっているはず。

□年度がかわつたとて、BankARTの運営に大きな変化はありませんが、生き続けるために常に変わり続けなければいけないのも事実です。日々の運営をつつがなく継続し、大きな構想への夢も思い描き続けたいと思います。

BankARTschool 学校の近況をお伝えします。

青井哲人「アノニマスな世界をつくるアート(わざ・すべ):台湾の都市・建築を読む」

2016年1月~3月期[月]

明治大学で建築史や建築論を教えている青井哲人氏。青井氏は今年の「アートと都市を巡る横浜と台北」展にあわせて開催したシンポジウムにパネラーとして参加して下さり、台北市のURS(都市再生のプログラム)について、興味深いお話を下さった。今回のBankARTスクールでは、「台湾の都市や建築」の話を中心に、台湾というアノニマスな世界をつくらせてきたアート(わざ・すべ)についてのゼミになる予定だ。今日の第一回目は、台湾の地形、人口、歴史などの概論的な話。概論とはいえ、歴史的な人口構成の推移の話等はとても面白く、多様な少数民族で構成されたほとんどが原住民の時代から、大陸との混血の人口が90%以上の現在に至るまでの歴史がたった300年という事実に驚かされたりする。次回は「土と竹の世界」を予定しており、徐々に台湾のアノニマスな魅力ある世界に誘ってくれるはずだ。

